

表紙 わらの会
(赤泊村公民館)

海外研修視察報告記

第32回欧州社会教育事情視察 に参加して

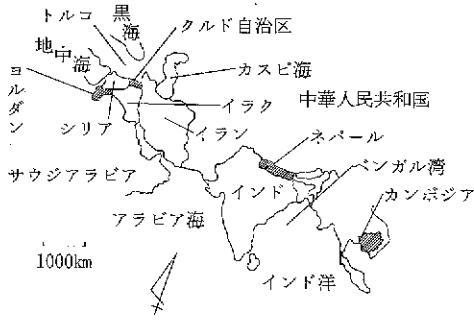
- 視 点 関プロ公連理事会研修会開催
- ひろ は 公民館は交流の場
- 実践シリーズ 事業推進員は公民館にとって
大切なパートナー
- サークル交流 燕短歌の会 (燕市)
巻手話サークル「はたる」(巻町)
- 素顔拝見 梅川 誠さん (上越市立公民館)
高橋 文雄さん (名立町公民館)

新年を迎えての年頭所感



金文「卯」

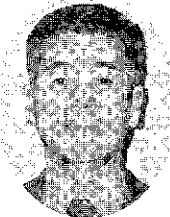
揮毫 今井会長



トルコ 黒海 クルド自治区 カスピ海 中華人民共和国 イラク イラン ネパール 湾 孟加拉 カンボジア インド 洋 インド アラビア海 1000km

加茂市出身の近藤亨さん(77)

元旦



二十世紀の地球人

会長 今井昭友

恭賀新正
昨秋、鹿児島で全国公民館大会が開かれた。その記念講演に脚本家の小山内美江子さん(68)が話された標題を借用し、思いをはせてみたい。
彼女は JHP OF YOUNG HU-MAN POWER) 代表でカンボジアに学校を作ること奔走している。ここに至る転機は、八年前、NHK「飛ぶが如く」の執筆を終えた半年後に訪れた。この年

に還暦を迎え期する所もあり、いつしか世界へと目が向いていた。私は、彼女自身の変革が、薩摩おごじよの心意気にあるとみた。母は鹿児島、西郷隆盛の弟と近所で同時代を過ごし、父は徳川直参の血を継ぐという。彼女の国際交流、理解Vの根底は、先ず日本を知ることにある。戦後すぐの昭和21年には四百億円にのぼる世界のNGO(非政府組織)の支援により青少年が救われた。更に、昭和30

年には世界銀行から30年賦の借金で、オリンピックを成功させ、経済復興を遂げ、今日の平和と繁栄をもたらした。この観点で平成二年の中東紛争に、政府は百数十億円を出したが世界から軽蔑される。金だけ出して血も汗も流さない」といわれた悔しさ、平成三年ヨルダン難民救済に、彼女ら青年男女の七人が立ち上がる。事実、外務省形無し顔が見える外交とポランティア活動を展開した。因みに、編の缶詰に「日本提供」のレット表示をさせたという。また、クルド自治区は水が悪く、毎日死者を出す。このイスラムの夏は、40度の猛暑、そして厳しい戒律。長髪で朝シャンの女子学生が、金髪やセメント作りも手に負えない男子学生が、果たしてこの地で暮らせるだろうか……。

とにか、青年は実体験がない。見兼ねて、若者は国境を越せ」と憤慨することしきり。私は、話を聞くうちに、本県

公民館振興市町村長連盟
平成10年度理事・代議員会開催さる
去る12月2日(例)東京・麹町会館に於いて、平成10年度の理事・代議員会が開催された。議事は、第1号議案、平成9年度事業報告及び収支決算について、第2号議案11年度事業計画及び収支予算案について審議され、両議案ともそれぞれ原案どおり認定・可決された。その他としては、公民館等の国の補助制度の廃止に伴い、今後の活動をどうするか、ということを実施したアンケートの調

月刊公民館12に
当会『研修報告書』
紹介される

がネパール・ムスタンに果樹栽培や稲作指導、学校、病院建設に捧げる姿と、新潟市の本間ケイさん(56)がインドへ絵画取材に行き、学校造りや障害を持つ人々への支援に関わって10年間に16回通い詰め、現在は、同市東地区公民館受講生から日展作家として活躍中の姿が、オーパーラップした。
二〇〇二年には、本県にサッカーのワールドカップが開催される。これを機に公民館活動と国際交流が、二十一世紀の地球人としての自覚を育むきっかけになればと願う。

上・中・下越地区で、それぞれの地公連主管で開催され、基調講演、パネル討議、分科会記録等、担当の方々のテープ起こし、記録整理等の労作を通して作成された貴重な冊子であり、こうして評価・紹介されたことに対して関係した事務局として大いに感謝し、喜びとしたい。

関ブロ公連理事会研修会開催

於国立オリンピック記念青少年総合センター

初めての試みである
標記研修会が、去る12
月3日(木)・4日(金)、通称
オリセンで開催された。
第1日目は、まず①
関ブロ各都県公連の現
状と課題、②関ブロ公
連のこれからのあり方
等について協議された。
共通の事項としては、
国・県の財政上の厳し
さを反映し、いずれの
都県とも苦しい運営を
余儀なくされている実
情が浮き彫りにされた。

第2日目は全公連の現状と題
して、全公連松下副会長から、
(1)来年度法改正提案に関わるこ
とで①公連審を任意設置にまで
努力したこと、②「これからの
公民館の役割」についての協議
会を設置したこと、(2)情報化時
代への対応として①月刊公民館
の充実・刷新、購読数の拡大、
②振興市町村長連盟の一層の拡
大、充実、③インターネット化
の推進、(3)全公連補償制度の健
全、透明化を図る等の報告がな
され、最後は、佐藤一子教授の
講演で締め括られた。



各都県公連の現状・意見交換

視点

部地域の人から担当し
てもらっています。先
日は創立記念行事とし
て次のようなことをし
ました。

我が校で
は地域の
人たちの
力を借り
ていろいろ
な行事を
しています。
まず、ク
ラ活動も一
部地域の人
から担当し
てもらって
います。先
日は創立記
念行事とし
て次のよう
なことをし
ました。

一緒に子育て家庭・地域・学校

前川 倫子

・高学年「地域の伝統
や行事・物や人に触
れ、学ぶ」―地域のゴ
ミ拾いをした後、地域
の施設である温泉「さ
ぶくん」に入って地域

・低学年「昔の遊びに
触れ、学ぶ」―考人ク
ラブの人たちから昔の
遊びを教えていただき
一緒に遊びました。
・中・高学年「学校の歴史
にふれ、学ぶ」―昔の
小学校の様子をお話し

これからは、家庭・
地域・学校の三者が一
体となった教育が必要
になってきます。
そのためには、まず、
それぞれ

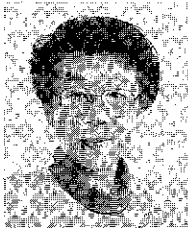
それぞれの立場を知ら
せ合う交流を行い、次
にそれぞれの立場、考
え方を生かしながら連
携していくこと、そし
てそれぞれの特徴を生
かして、役割分担をし

私の大好きな短歌
「寒いねと、話しかけ
れば、寒いねと、答え
る人の、いるあたたか
さ」、家庭・地域と学校
の関係もこんな一面が
あっていいのでは…。
(と思えます。)

山倉小学校校長

公民館は交流の場

十日町市公連審委員 河野 久美子



十日町
市の中心
部から北
へ約六キ
ロメートル
の山あ
いに位置
するのが、
私の住む
下条地区
公民館で
ある。地
区内には
四つの分
館が存
在する。

今日も、小学生の集団が
元氣よく図書を借りて飛び
込んでくる。げじょうっ子
読書活動は、平成十年四月
から平成十一年二月まで
に、一年生～三年生は五十
冊、四年生～六年生以上は
三十冊以上読んだ児童に認
定証が渡されるということ
になっている。「歩きなが
ら読んじゃ駄目よ、車に気
をつけてね」と、窓口の職員
の暖かい声に送られ、元氣に
飛び出して行く。

場として活発な動きを展開
している。
中でも、地区館と各分館で
行なわれる文化祭や雪まつり
行事は素晴らしい。お互い
身近に住み続けているにも
かかわらず、社会環境や生
活環境等の変化によって向
う三軒兩隣の感が薄れつ
つある今日、多勢の地区民
が挙って参加するこれ等の
行事で、普段の疎遠が一気
にとり戻せるような感さ
えする。同じ目的に向い
協力し同じ汗を流す、お
互い心を通わせながら同
じ温度で実感を味わう、
とても素晴らしいことであ
る。

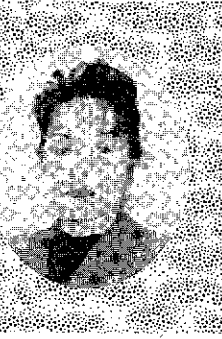
以上は、一地区館の事業
のひとつであるが、これか
らの時代を暖かな環境の中
で、お互い助け合い支え合
いながら暮らすことの出来
る地域づくりが、地区福祉
会を中心に行なわれている。
これからも、地域の拠り所
として行きたい。



◇はじめに

全国公民館連合会主催の事業として、全国から応募の公民館関係の方六名と一緒に、十一月五日(木)から十八日(水)までの二週間、フランス、イギリス、スイス、イタリアと四方国を視察し、研修してきた。

今回の目的は、高齢化社会及び環境問題等の関係施設を訪問し、欧州の社会教育、生涯学習の現状を視察し、見聞を広めることだった。なかでもイギリスでの二日間のホームステイは、語学の壁を越えて家族の姿、家



視察に参加して

社会教育主事 桜沢 秀子

庭のしつけなどをかいまみることででき、貴重な体験となった。

一、フランス

—成人、職業訓練学校協会—

〈概要〉

成人教育の職業訓練学校であり、全国で百二十二校、七百箇所のワークステーションを持つ。すべて国営で授業料は無料であり、誰でも入れる。

〈目的〉

現代的で融通性のある職業訓練システムで、様々な企業や個人の要望に応える。

〈特色〉

①サラリーマンの能力の改善や開発として、自分の技術を向上させたい人や、企業から再訓練を依頼された人等の生涯教育の中核となっている。

②フランスは、家事労働を職業の一種とみなす伝統があり、働く女性と専業主婦の双方に対する保護を行っている。フランスの女性政策の底の厚さが感じられる。

二、イギリス(ロンドン)

—ハマースミス&フルハム・アーバン・スタディセンター—

〈概要〉

ストリートワーク運動の一環

として開設されたもので、全国で四十箇所以上ある。都市づくりの学習センターである。

〈目的〉

地域問題を認識、解決するための知識・技術を、子どもを含む地域住民に提供する。

〈特色〉

①小学生から大学生までの学習プログラムを開発している。
②教師のためのトレーニングやサポートを行う。
③地域の情報センターの役割を果たす。

④今、日本で提唱されている「学社融合」が、地域学習を中心に成熟した形で実現されている。

三、スイス

—チューリッヒ大学
—高年齢者大学—

〈概要〉

高齢者(六十歳以上)を対象に、医師や大学教授のレクチャーを主体としたセミナーによる大学開放事業、誰でも入校でき、授業料は年間四千円。

〈目的〉

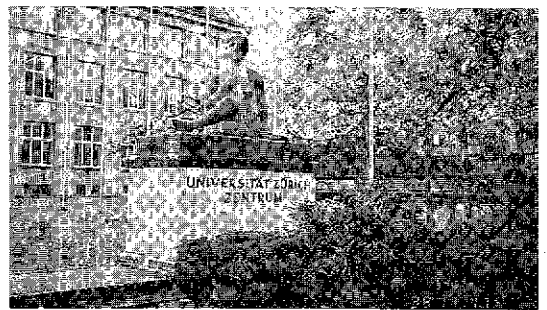
高齢化社会に向かいつつあるスイスの高齢者の生涯学習。

〈特色〉

①一回二時間程度で数百人を対象に行われる。病院や別講堂へ

《日 程 表》

国	月、日	午前	午後
フランス	11. 5(木)	新東京国際空港出発	パリ着
	11. 6(金)	成人職業訓練学校協会	ノートルダム寺院見学
イギリス	11. 7(土)	イギリスへ移動	ホームステイ宅へ
	11. 8(日)	ホームステイ宅	同 左
	11. 9(月)	ハマースミス&フルハム アーバンスタディセンター	ロンドン市内見学
スイス	11. 10(火)	スイスへ移動	フラウミュンスター 寺院見学
	11. 11(水)	スイス市内見学	チューリッヒ大学
	11. 12(木)	ミラノへ移動	スカラ座見学
イタリア	11. 13(金)	高齢者レクリエーションセンター	市内見学
	11. 14(土)	ローマへ移動	ローマ市内見学
	11. 15(日)	ボンベイの遺蹟見学	同 左
	11. 16(月)	リハビリテーションセンター	ミラノ市内見学
	11. 17(火)	帰国の途へ	同 左
	11. 18(水)	新東京国際空港着	解散



スイス、チューリッヒ大学 (高年齢者大学)

③テーマが多岐にわたり、受講生も多彩である。

四、イタリア その1

○ミラノ

—高齢者レクリエーションセンター—

〈概要〉

ミラノ市の高齢化率は27%を越えている。そのため学習サポートセンターとして、公立と企業で十数箇所経営されている。

①公立レクリエーションセンター

市内十三箇所があり、市職と専門講師で構成、介護訪問ボランティアも実施している。

②企業(法人)によるレクリエー

もテレビで中継される。
②ビデオ化して、図書館等への貸し出しも行う。

《海外研修視察報告記》

第32回欧州社会教育事情

◎視察団員

十日町市公民館

シオンセンター

養護老人ホームと図書館、公民館、文化会館の複合施設。企業関係者だけでなく、一般の人にも受け入れている。

州の援助は一人一日五千円程度、入所者は利用料を払う。

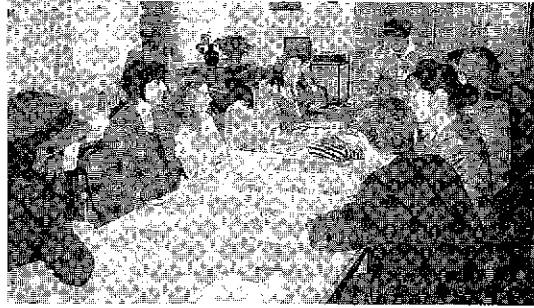
《目的》

高齢者を家庭に閉じ込めず、やる気を持たせ、特技を生かす高齢者の生きがい対策。

《特色》

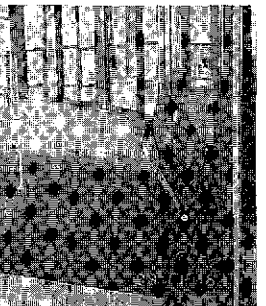
①市立は週二日間の通所で、日本の公民館事業にいた内容である。

②企業立は、その企業の特徴を生かした特養機能をもつ入所制



ミラノ、レクリエーションセンター

の施設、講座教室のほか、コンサートホール、レストラン、テニスコートなどを備えている。
③レクリエーションの本来の意味は、学習、介護、休養、スポーツなど幅広いものである。



ローマ、リハビリトレーニングセンターのスロープ

◎ローマ リハビリトレーニングセンター

《概要》

国の補助を受け、民間で経営している。ローマ市内に百箇所ほどあり、現在入所無料。14歳〜30歳の重度障害者を受け入れ、医師、看護婦、訓練師、学習指導者などで構成されたりハビリティトレーニングのための施設。

《目的》

「障害者の日中入院」と称し、障害者のリハビリと職業訓練を行う。

《特色》

- ①利用者は常時通所、外来、リハビリ、家庭訪問のいずれでも可能。
- ②所内設備も、スロープ、エレベーター、階段が広く設計され、使用が出来る。
- ③障害に合わせた教材で機能訓練を行ない、社会復帰させている。

◇研修を終えて

フランスでの生涯教育としての職業訓練学校、イギリスの学社融合、スイスの高齢者大学、

そして、イタリアでの高齢者事業や障害者職業訓練など、それぞれの国の課題にかかわる社会教育の特徴が、しつかりと焦点化されているのを感じた。
今、社会は情報化、少子化、高齢化に伴い大きく変化している。これを受けて、公民館も改善を迫られている。そのためにはまず、中にある「自分」を変革していかなければならない。

昔から「かわい子には旅をさせよ」と言われ、自分も子どもにそのことを言ってきた。ところが今回の研修で、「自分が旅に出てみることの大切さ」を痛感した。距離を置くことで、体験だけでなく、違った視点から社会を見直すこともできる。

核家族化が進むと、人と人とのつながりが希薄になる。社会教育、特に公民館は「住民を旅に出すか」が原点と思われる。

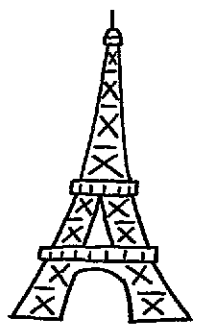
今回の視察では、イギリスでの二泊のホームステイを行った。まったく語学はだめ。それが、イギリスの一般家庭に二人ではあったが入り込む不安は大きかった。

ところが、家庭での受け入れはすばらしかった。話せなくても、習慣が違っていても、そのまま家族の一員として無条件に受け入れてもらえた。持っていたおみやげのお手

玉から、子どもたちを間に、違和感なくとけ込むことができた。
イギリスは礼節を守る国と言われているが、靴の脱ぎ方から食事のマナー、食事の手伝い等、すべて両親の係わりの中で子どもが育てられている。そして会話の中にも、個人の人格を尊重するイギリスらしい家族の絆の強さがうかがえた。

公民館に職を置く者として、社会教育法第20条の「公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実生活に即する教育、学術および文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教育の向上、健康の増進、情報の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。」と、うたわれてることを痛切に感じた有意義な研修であった。

この研修視察の参加に当たり、いろいろとご心配いただいた関係各位に深く感謝致します。ありがとうございました。



実践記録シリズ(31)

事業推進員は公民館にとって

大切なパートナー

見附市葛巻公民館

一、はじめに

見附市の公民館は、旧町村単
位に中央公民館をはじめ計6館
が設置されています。これから
はすべて独立館として各館がそ
れぞれに年間計画を持ち、幼児
から高齢者の幅広い層を対象に
様々な事業を展開しています。

「事業推進員」とは、市教育委
員会が各地区公民館(表1参照)
ごとに委嘱する方式で、皆さん
全てその地域の一般住民です。
平成9年度は計20名、今年度は
活動が各地区で行われています。

①事業推進員のねらい
「地域住民と公民
館の密着した取組み
が可能となる」こと
がねらいです。より
地域に根ざした公民
館活動のためには、
実際にそこに生活し
ている地域住民の参
画が欠かせません。
「この地域では何が
求められているのか、
何が必要なのか」
を、言葉や理屈でな
く肌で感じている
「生活者」の発想が
大切なのです。



クリスマスケーキづくり

②事業推進員の業務と人選
事業推進員の業務は、担当す
る公民館事業に関する一切の企
画・実施・運営・評価ですが、
それには原則として会議資料や
案内文書の作成、会議運営、書
類の手続き等、事務的なものも
含まれます。

事業推進員には、公民館活動
に理解や関心が深く、時間や能
力を積極的に社会教育活動に活
用することで、地域に貢献しよ
うという熱意がある人材が望ま
しいと考えます。

現在、運営審議会委員、自
営業者、農業従事者、主婦、退
職者、地域団体役員などの方々
が委嘱されています。

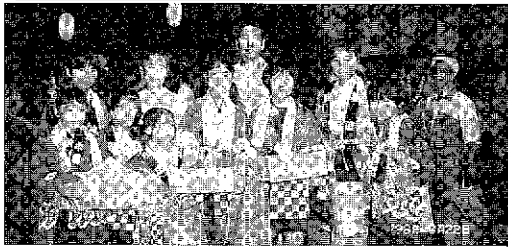
二、葛巻公民館での実践活動
葛巻公民館の事業推進員は三
名。清水辰司さん(40代男性)、
三本友子さん(40代女性)、富所
正和さん(20代男性)です。

初年度はまず、一人2つの事
業を担当しようという目標を設
定しました。どんな内容のもの
を担当するかに関しては、公民
館側で原案を提示しました。

◎一年目を終えての感想・反省
は、大きく次の3点。
(1)事業推進員のやるべきこと
が、まだ明確に分からない。
(2)公民館との、あるいは事業推
進員同士のコミュニケーション
が不足していた。
(3)負担に思われないようにとす
る余り、「こうすればできます
よ」といったノウハウの説明に
終始しがちで、事業推進員の発
想・アイデアを十分に生かせな
かった。
②平成10年度
担当指定は大枠のみ。臨機応
変に企画内容を考えてもらって
います。
◎現時点で気づ
くことは、
(1)事業推進員に
はそれぞれの個
性や適正にに応じ
た協力・支援が
必要である。
(2)講師と受講
生、受講生同士
を「結ぶ」こと
に、難しさと同
時にやりがいや
楽しさを感じて

表1:見附市の公民館の事業推進員
(平成10年度) 単位(人)

公民館名	事業推進員
見附市中央公民館	6
見附市東公民館	3
見附市西公民館	4
見附市南公民館	4
見附市北公民館	5
見附市東公民館	4



少年少女 盆踊り大会

「地域住民と公民
館の密着した取組み
が可能となる」こと
がねらいです。より
地域に根ざした公民
館活動のためには、
実際にそこに生活し
ている地域住民の参
画が欠かせません。
「この地域では何が
求められているのか、
何が必要なのか」
を、言葉や理屈でな
く肌で感じている
「生活者」の発想が
大切なのです。

①平成9年度(表2参照)

表2:葛巻公民館での活動報告(9年度)

清水辰司さん	辰司さん	親子体験サイクリング	
少年少女	辰司さん	7月27日(日)	
とと	城山、お寺、大平森林公園、見附運動公園地		
参加者	申し込みがなかったため中止。		
おはなした	夏休み特別編「お泊まり会」		
とと	8月20日、21日(水、木)		
とと	葛巻公民館		
参加者	子ども 65名(うち宿泊40名)		
少年少女	辰司さん	クリスマスケーキづくり	
とと	12月23日(火、祝)		
参加者	西中学校 調理室		
とと	小学校4・5・6年生	29名	
三本友子さん	辰司さん	「フォークダンス教室」	
生活趣味	6月2日(月)~8月4日(月)	全5回	
とと	葛巻公民館	参加者28名	
生活趣味	辰司さん	点字入門講座	
とと	10月1日(水)~11月5日(水)	全6回	
とと	葛巻公民館	参加者 6名	
富所正和さん	辰司さん	「親子野球大会」	
とと	6月14日(土)		
参加者	葛巻小学校グラウンド		
とと	6町内7チーム	142名	
親子ドッジボール大会			
とと	10月5日(日)		
参加者	葛巻公民館体育館		
とと	6町内7チーム	240名	

トナーなのです。(長谷川記)

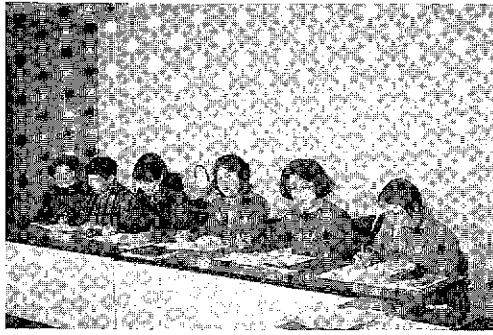
くれている。
(3)事業推進員(「地域住民」は
アイデアの芽を沢山持つてい
る。公民館は、それを咲かせる
方法を一緒に考える良きパート
ナーにならないといけない。
三、今後の期待(おわりに)
事業推進員が公民館活動に携
わるうち、「地域の在り方」とい
う課題に考えが行きつく時がく
るでしょう。そこには、目を伏
せなくなるものもあるはず。そ
れでも事業推進員には、変わら
ず前向きに取組み、課題の解決
に挑戦してほしいと思います。
地域の教育力の低下や住民自
治が呼ばれる昨今、公民館に
とって事業推進員は、こうした
地域の「必要課題」について、

サークル交流

継続を力に

燕短歌の会

平成元年七月に、中央公民館で短歌講座が開かれ、終了後受講生の希望で短歌の勉強会ができました。講師が世話役になり、勉強会作品の受付、発送等を担当し自主活動を始めて十年になりました。都合で退会者もありますが、二次の講座生から新会員を迎え、この勉強会が楽しくやれるように、歌会のきびしい批評も受け入れられる雰囲気づくりを心がけています。



現在八十歳から三十一歳まで十七名の会員が、「紙と鉛筆があれば」と作品を作る機会を大切にしていきます。

講座終了後、市民文芸誌玄鳥二号に投稿することができ、会を始めて半歳後に文芸誌に載った作品に親しむことができました。世話役の代表が入会している結社コスモスの入会者が八名になり、毎月投稿しているのも成果の一つです。

「継続は力なり」を実行できるよう、親睦会で語り合い、一首を作る苦しみも、次号市民文芸誌に投稿するための原動力になっております。

(同会世話役代表

小出 幸子 記)

出会いと

交流を大切に

巻手話サークル「ほたる」

昭和五十五年七月に、「あなたも手話を覚えて、ろうあ者と交流致しませんか」との呼びかけで始まった巻手話サークル「ほたる」、本当に、ほたるの光を灯すような小さなサークルですが、やがて20年を迎えようとし



ています。毎週土曜日の夜七時三十分から巻町公民館和室をかりて、ろうあ者の方から普段、生活に使う手話を学んでいます。小学生から大人まで、年齢の幅があるので、手話を使った歌やゲームなども行っています。又西蒲原ろうあ協会や、西蒲原地区の他手話サークルとの交流を行ない、情報交換や、学習を交えたレクリエーションやスポーツ大会なども参加しております。老若男女を問わず、だれでも気楽に参加出来ますので、手話を通して色々な人との出会いや交流があり、毎週楽しく学習させていただいております。

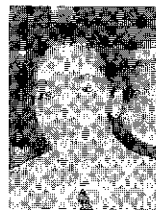
(巻手話サークル「ほたる」

渡辺 裕子 記)

上越市立公民館直江津地区館

主任 梅川 誠 さん

可愛い妻と子どものために彼は今、直江津地区館で中国語講座や手話入門講座等と、谷浜、桑取地区の分館事業を担当している。公民館での仕事はまだ一年半余りだが、持前の気力、体力、教養の三拍子揃った中堅どころである。特に桑取地区では、上越市が市の西部中山間地



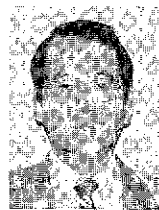
の振興策として指定を受けて、来春のオーブンを予定し

素顔拝見

名立町公民館・生涯学習

係長 高橋文雄 さん

団魂の世代と真ん中の彼だが、この世代らしい面とそうでない面の両方を兼ね備えている。町の役場で殆んどの係を経験し、苦労してきたからだろう。



ある。

そんな彼にも今、大きな悩みがある。車の免許をとった二人のお嬢さんからそれぞれ新車をねだられていることだ。どこかに金のなる木はないか、金の草鞋ならぬ、自分の中古車を駆って探している。急がないと自分のと三台になると慌てている。

(名立町公民館長

細谷 純夫 記)

しているリフレッシュイベント事業(温泉、レクリエーション施設の建設等)を進めているが、これに関連した地域おこしと、自前の地域づくりに取り組んでいる「明日の桑取を考える会」の皆さんの「民族行事の伝承」や「桑取川にイワナやアユをもどす環境づくり」等、桑取地区の地域おこし運動推進のため、彼の活躍に大きな期待をよせている。これからの、二十一世紀に向けた上越市のまちづくりや生涯学習推進のためにも頑張ってほしい。(上越市立公民館 矢島 靖啓 記)

もやれる力量の持ち主だ。とにかく、多趣味・多芸である。



恵贈資料紹介

「文芸さんぽく」第十四号

山北町教育委員会

「文芸せきかわ」第九号

関川村教育委員会

「文芸かみはやし」第三号

神林村教育委員会

今年も、県北の三町村より、それぞれ時期を同じくして文芸誌が恵送されて参りました。発行からの歴史的経緯はそれぞれ長短ありますが、県北地区各町村の文芸誌が互いに好影響

を受けながら、レベルの向上に務められておることに敬意を表する次第です。自主的な企画・運営・編集等を含めて、内容の今後一層の充実を期待しております。

恵贈資料紹介

「文芸むらかみ」第十九号

文芸むらかみ編集委員会

村上市教育委員会

「文芸とよさか」第十四号

文芸とよさか編集委員会

豊栄市中央公民館

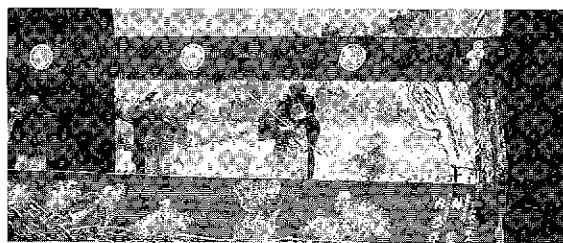
阿賀北二市の文芸誌の紹介をさせていただきます。

「文芸むらかみ」「文芸とよさか」共に発行の歴史と内容の充実を誇る文芸誌です。その根拠は、やはり編集委員

会を組織し、自主的な企画・運営・編集に当たっていることではないでしょうか。例えば、美術協会・美術写真同好会等の支援を得ての表紙絵、部門毎の仕切りの絵・写真がすばらし



生涯学習発表会 まなびピア佐渡'98



去る12月6日(月)、アミューズメント佐渡において、佐渡島内各市町村公民館で活動する講座生の作品展示会と同時開催で、伝統文化教育推進事業発表会が開催された。地公連と郡市伝統文化教育推進会議の共催によるもので、学社連携を地で行くものとなった。おけさ、子供鬼太鼓、文弥人形、子供歌舞伎を熱心に演ずる小・中学生たち、それを支援する父母・学校・公民館関係者たち、佐渡の伝統芸能のすばらしさを体感した。参加者は帰途、作品展にも立ち寄り、盛会な一日であった。

あとがき

◆新年あけましておめでとうございます。旧年中は、何かとお世話になりました。今年も何分よろしくお願い申し上げます。◆今年も、今井会長から年頭所

表紙解説

「わらの会」

外山地区の農家の主婦等で構成されて、秋の収穫の農閑期を利用し、お正月用の「しめ縄」や「宝船」等をつくっている。これら「わらの会」のみなさんが作った「しめ縄」などを神棚等に飾る家庭も多い。(赤泊村公民館)

発行所 新潟県公民館連合会

〒951-8053

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【TEL・FAX (025)224-6073】

発行人 会長 今井昭友

編集人 事務局長 鈴木友夫

【定価1部150円 年共・年極1,800円】

(鈴木 記)